

山口大学地域防災・減災センター

第11回

防災・減災講演会

主催：山口大学地域レジリエンス研究センター

2026年

参加費：無料 定員：500名

3月25日 水 15:30～17:00

Zoomによるオンライン開催（接続可能15:20～）

わが国で発生する洪水・土砂災害の特徴

－2021年～2025年の現地調査とデータ解析を基礎として－

講師

山本 晴彦 氏

山口大学名誉教授、客員研究員

山口大学農学部卒業。博士（農学）。1985年農林水産省九州農業試験場（現九州沖縄農業研究センター）研究員を経て1994年4月山口大学農学部へ赴任。農学部教授、大学院創成科学研究科教授を歴任し、2023年3月定年退職。同年4月から山口大学名誉教授、教授（特命）。2024年9月から客員研究員。専門は「環境防災学」。気象災害に関する調査研究は国内外で大きな評価を受けており、2020年に文部科学大臣表彰（科学技術省）、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。日本防災士会山口県支部支部長として、防災士育成にも長年取り組んでいる。



本講演では、2021年に発生した熱海市の土石流災害、佐賀県六角川流域の洪水災害、牧之原市の竜巻災害、2022年に発生した新潟県村上市・関川村の土石流・洪水災害、五ヶ瀬川水系の洪水災害、静岡市の巴川水害、2023年に発生した取手市・越谷市の浸水被害、山口市・美祢市の洪水災害、久留米田主丸町の土石流・洪水災害、2024年に発生した山形県戸沢村の洪水災害、鹿児島県与論島・沖縄県北部の浸水被害、2025年に発生した熊本市・上天草市・天草市および宇部市の浸水被害などについて、その特徴と課題について紹介する。

お申し込み方法

本講演会はZoomウェビナーを利用します。山口大学地域レジリエンス研究センター防災・減災グループのホームページより**2026年3月23日（月）**までに**事前申込**をお願いいたします。

 土木学会認定CPD 1.5単位

【お問い合わせ・お申込み】

山口大学 地域レジリエンス研究センター 防災・減災グループ

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

E-mail: cldpm@yamaguchi-u.ac.jp（担当：山本） <https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html>

